

議会運営委員会視察（令和8年5月12日～13日）

香川県宇多津町 — 塩田跡地が新宇多津都市という新しいまちに —

全国屈指の塩の町として栄えた宇多津は、塩田廃止と瀬戸大橋の開通を機に、広大な塩田跡地が新宇多津都市という新しいまちに生まれ変わった。

平成の大合併により、県内の多くの市町が合併する中で、単独での自立を選択して、中讃地域をリードする四国の玄関口として、まちづくりを進めている。

【2023年より議員定数10名】

女性の割合が4名と高く、一般質問や委員会質疑などで、女性ならではの視点を取り上げられやすくなった。

【議会運営・議会活動において工夫した点】

- 臨時会を開会し、専決処分を極力減らしている。
- 会派制をとっていない。
- 改選後1回目の常任委員会の視察は交流を図る目的も兼ねて、議員全員で行く。さらに町長にも案内をする。
- その他、「定例会の流れ」「臨時会の流れ」等議会運営全般について、意見交換を行った。



香川県直島町 — 自然文化と環境の島 —

直島町は、瀬戸内海に浮かぶ27の島々からなる町で、白浜青松の美しい自然に恵まれたすばらしい町である。海運業や製塩業の島として栄え、大正6年になると三菱鉱業、現在の三菱マテリアル(株)直島製錬所が設立され、以来島は飛躍的な発展を遂げてきた。行政圏は香川県に属するが、電気・水道など日常生活圏は距離的に近い岡山県玉野市にあるという特殊な立地条件にある。

井下議長を中心とした議員の皆様と、議会運営のあり方、移住・定住対策等について活発な意見交換を行った。

令和6年の観光客は、749,493人の実績で、毎年増加傾向にある「ベネッセアートサイト直島」への取り組みを中心に、今後の発展が大いに見込まれる自治体である。



4地区合同座談会 6月5日 砥部町中央公民館講座室

孤独・孤立の背景や課題、地域共生と地域福祉活動などについて、議員も時間が許す限り出席して、各校区や居住区のグループに入り、町民の皆さまのご意見を聞かせていただいています。

地域の方々が、気軽に楽しく集える魅力的なコミュニティを作るため、様々な工夫して、惜しみなく情報を共有しています。

いわゆる「お世話役」を引き受けてくださる方々は、好奇心旺盛で生き生きと活動され、人をひきつける力があります。私たちも一住民としてその輪に加わり、より良い砥部町にしていけるよう頑張ります。